



施策の体系

白石市教育振興基本計画の全体体系

施策の基本方向

めざす姿

基本理念

基本目標

高い志をもち、社会を生き抜く子ども

高い志をもち、時代の変化に柔軟に対応して社会を生き抜く人（市民）を育てる。

1 徳・体・知の調和がとれ、夢と志をもち、その実現に向かって努力する人間を育てます。

2 郷土・白石を愛し、伝統文化や規範を尊重し、思いやりの心で明日の社会を支える人間を育てます。

3 学校・家庭・地域社会の教育力を高め、連携して、社会全体で子どもたちを守り育てます。

4 生涯にわたり学び、生きがいのある生活を送ることができる地域社会をつくります。

1 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成

- 人間としての在り方や生き方を考えさせる志教育の実践
- 命を大切にする心を育む社会体験や自然体験の推進
- 健康な体づくりと体力・運動能力の向上

2 学ぶ力と自立する力の育成

- 市内の特色や35人学級・2学期制を活かした教育課程の編成と展開
- 社会の多様性を踏まえたESD教育及び外国語活動の充実
- 家庭における学習機会の充実と働きかけ

3 障がいのある子どもへのきめ細やかな教育の推進

- 特別支援教育の充実と発展
- 「特別支援学級等サポート事業」（特別支援教育支援員）の継続と充実及び拡大

4 信頼され魅力ある教育環境づくり

- 小・中学校将来構想の方針に基づいた取り組み
- 危機管理体制の強化
- 施設設備や教具等の充実と効果的な活用
- 図書館の充実

5 家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり

- 家庭・学校・地域の協働による教育力の強化
- 協働教育の推進

6 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

- 社会教育推進体制の充実
- 生涯スポーツや地域スポーツの推進

家庭

生活の基盤であり、生活習慣や情操、思いやりの心を養います。

学校

学習の基盤であり、子どもたちの可能性を最大限に引き出します。

地域社会

子どもたちの育成を見守り、生涯を通じて学び続けていく土台となります。

行政

行政は、家庭、学校、地域社会が、その役割を十分に果たせるよう、取り組むべき施策を総合的・体系的に位置付け、推進していきます。

各主体の役割